

平成29年度 ひだか病院新改革プランの点検・評価

1. 総論

平成29年度は、長らく休床となっていた一般病棟の一部病棟を回復期リハビリテーション病棟として再稼働させたため、前年度に引き続き、有資格者の積極的な採用を実施した。その結果、人件費用の増額があったことや、高額な減価償却費の影響もあり、昨年度に引き続きの経常損益の計上となった。しかしながら、回復期リハビリテーション病棟の開設・稼働による入院患者数の増加、並びに年度後半において一般病棟における病床稼働率の高水準の維持による入院収益の増収もあり、状況は改善されつつあります。当初作成したプランの数値には17項目中12項目が未達成でありました。全般的に作成したプランの数値には届いていないが、年度後半における病床稼働率や、入院・外来患者数等の伸びが顕著に見られました。

2. 改革プラン進捗状況

(単位：百万円、人、%)

項目	平成29年度 新改革プラン	平成29年度実績	差	達成状況	備考
医業収益 ①	5,974	5,673	▲ 302	×	
経常収益 A	6,922	6,570	▲ 353	×	
医業費用 ②	7,061	6,911	▲ 150	○	
うち職員給与費	3,945	4,181	236	×	
うち材料費 ③	1,563	1,405	▲ 158	○	
うち減価償却費	553	564	11	×	
経常費用 B	7,488	7,349	▲ 139	○	
経常損益 (A-B)	▲ 566	▲ 780	▲ 214	×	
経常収支比率 (A/B×100)	92.4	89.4	▲ 3.1	×	
医業収支比率 (①/②×100)	84.6	82.1	▲ 2.5	×	
材料の対医業収益比率 (③/①×100)	26.2	24.8	▲ 1.4	○	
病床稼働率 (許可病床数)	79.2	72.0	▲ 7.2	×	
1日当たり入院患者数	290	274	▲ 16	×	
1日当たり外来患者数	650	651	1	○	
救急受入患者数 (時間外・休日)	6,752	5,878	▲ 874	×	
紹介率	32.0	28.7	▲ 3.3	×	
逆紹介率	26.4	23.7	▲ 2.7	×	